

高齢化に伴って耕作を断念する農業者が増加するなかで、耕作放棄地の増加を防ぐため令和3年10月1日に南阿蘇村農業みらい公社（以下、公社）を設立しました。

公社では農地の幹旋や管理、新規就農者の育成、そば収穫を中心とした農作業の受託などをおこないます。この中の新規就農者育成の手段として「地域おこし協力隊」制度を活用し、「新規就農プロジェクト」として新たに採用された4人の新規隊員を紹介します。

この4人は、旧両併小学校を拠点とした、公社がおこなう農地の管理や農業生産とあわせた2年間の研修で知識や技術を身につけ、2年後には国の制度などの支援を受けながら自立就農することを目指します。



すずしま ちほこ  
鈴嶋 千芳子

八代郡氷川町出身

食糧自給率の低さ、種や肥料などの農業資材の海外依存、自由貿易化、農業の担い手の高齢化など、

日本の食をとりまく現状に危機感を抱き就農し日本の農業を支えたいと考えていましたが、3月から南阿蘇村で地域おこし協力隊として就農を支援していただけることになりました。

前職はヨルダン（事務）、カンボジア（有機農業事業）と海外勤務で、海外の料理や話も好きです。南阿蘇村では無肥料無農薬栽培の多品目を生産していきたいと思っています。



みや わき ゆう  
宮脇 悠

熊本市東区出身

非農家でしたが自身のアトピー経験などから食と農の大切さを知りました。

前職で農業用倉庫を販売しながら農家さんと関わるなかで、耕作放棄など日本の農業が抱える問題が喫緊の課題だと感じました。出身地熊本で就農先を探していたところに、南阿蘇村も同じ課題を抱えていると聞き地域おこし協力隊に志願。南阿蘇村の自然豊かな土地を今後の世代に残していきたいと考え、将来的には循環型の米農家を目指しています。趣味は登山とイラストとカレー料理です。



こ や さ こ あきら  
小屋迫 瑛

上益城郡甲佐町出身

2年前に地元の甲佐町で農業に触れる機会があり、そこで野菜を育てていくうちに興味がわき、そこからもっと農業を勉強したいと考えて熊本県立農業大学校で研修を受けました。

南阿蘇には祖母がいて農地があると知り、空気と水が綺麗な南阿蘇で農業をしたいと考えていたときに、地域おこし協力隊の募集があり今活動しています。南阿蘇の農業に貢献できるよう頑張ります。

南阿蘇には祖母がいて農地があると知り、空気と水が綺麗な南阿蘇で農業をしたいと考えていたときに、地域おこし協力隊の募集があり今活動しています。南阿蘇の農業に貢献できるよう頑張ります。



なが さ わ しず か  
長澤 静香

合志市出身

こんにちは、長澤静香と申します（あだ名は“おしず”です）。西合志出身で、高卒後は上京し服飾学校に通って

いました。卒業後はアパレルや飲食で勤務し、15年住んだ東京からとあるきっかけでUターン！その際、南阿蘇の景観の素晴らしさに心震え、ここで農業をしたい！と決意。実は協力隊着任の2日前まで山都町の“なかはた農園”で減農薬苺栽培を勉強していました。

今後は南阿蘇で有機やバイオマスを学び、3年後の《エシカル消費な苺狩り農園》立ち上げを目指して頑張ります！野菜と日本酒とワインが好きです！よろしくお願いします。